



# 啓明小だより

中野区立啓明小学校

校長 鈴木 栄子

〒165-0034 東京都中野区大和町 1-18-1

電話 03-3330-2325 FAX03-3330-2326

ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/nk-keimei-e/>

No. 516号 7月号 発行 平成29年6月30日

## 梅雨の季節に

校長 鈴木 栄子

梅雨の季節です。暑かったり、涼しかったりしながら6月が過ぎていきました。6月も様々な事業が実施されました。その中から9年間連続している子供たちの学びを考えていく小中連携事業と、幼少期から連続して子供を育てていく保幼小連携事業を紹介します。

本校は第四中学校と連携して子供たちの学びを考えていきます。小中連携事業で主に活躍するのは6年生です。9日金曜日に6年生全員が第四中学校を午後から訪問し、中学生が実際に学習している授業を見学しました。様々な教科について見学後、生徒会から中学校について説明を受け、さらに部活動見学を行いました。子供たちは少し緊張しながらも、熱心に見学していました。「黒板の字が細かいね。」、「一緒に見学している私にこっそりと」「校長先生、あの難しい問題、解けますか？」など、様々な感想からは、一年後に中学生になっている自分を想像しているかのようでした。10日学校公開日には、中学校から英語担当の先生が学級担任とともに授業に入った、外国語活動を実施しました。グループ活動も取り入れた学習に子供たちは夢中でした。当日は多くの保護者の皆様のご参観もあり、子供たちの学習の様子を見ていただくことが出来ました。

6月には、保育園の保育士さん、幼稚園の先生方と共に小学校教員が小学生の学習や生活の様子を見てそれぞれの分野でできる子育て、集団での行動・学び、などについて考え、学ぶ機会がありました。保幼小連携事業の一つです。子供は誕生した時から一人の独立した人として人格をもっていますが、その現れ方は個人によって違いがあり、誕生月による違いが目立つのも幼少期ならではです。しかるべき時期に発達段階に見合った社会性を身に付けさせながら、集団の一員であることに自らの居場所を確認させていくことが、子供の健全でよりよい人間関係づくりにつながるなどが話し合われました。6月の学校公開日では1・2年生の保護者の皆様に、5月のぐりぐら図書館春まつり・運動会とは一味違った、教室での学習の様子をご覧いただきました。学校では子供たちが新しい集団になれるよう配慮し、学習も着実に進めています。

さて、この時期に5年生は田植えを行いました。今年度の田植えの先生は、昨年度本校の校務主事として活躍してくださった新井さんです。新井さんは群馬県のご親戚とともに苗床の準備を進めていただきました。稲も生き物、品種や地方によって育ち具合に違いがありますが、どの品種にも田植えに適した時期があります。本校の田んぼは学級園の一部にあります。ビオトープは2年がかりでおやじの会の皆様が総力戦で生き返りを成功させてくださり、水の循環も始まって、ドジョウ、メダカ、ヤゴ等、様々な生き物が生息しています。そのビオトープのすぐ横で、19日に田植えを行いました。また、バケツにも「マイ米」を植え付けました。稲が暑い夏にぐんぐん育ち、初秋には稲穂が重たくたれるといいですね。泥にまみれての作業でしたが、小さい頃に泥んこ遊びなどの経験がたくさんあったのでしょうか。皆泥まみれになって楽しく田植えを終えました。その数日後、5年生は丸沼高原へ移動教室に出かけました。仲間を大切に、協力し、時刻を守って友達と楽しく過ごした3日間。多くの方に見守られ、どの子も大きく成長して帰りました。3年生は6月末に社会科見学で区内めぐりを実施し、国語科の研究授業も公開しました。4年生はクラブ活動が始まり、学級とは異なる異年齢集団で人間関係が広がっています。

雨の多い日は7月になっても続くことが予想されますが、梅雨の晴れ間をみながら、水泳指導が本番を迎えます。保護者の皆様にはお子様の健康について一層のご配慮をいただき、安全で楽しい水泳の学習を進めてい

### 7月の生活目標

### 「自分のからだを守ろう」

生活指導部 鶴淵 秀人

梅雨の時期になりました。子供たちは雨の日には休み時間の過ごし方を工夫し、晴れた日には、外で元気よく遊んでいます。外で遊び、教室に戻ってくると汗をかきます。ハンカチで汗を拭いて、授業の準備をすれば気持ちよく授業を受けられます。

また、湿気が多く雑菌が繁殖しやすい季節です。こまめに手洗い、うがいをし、毎日気持ちよく学校生活を送れるように、清潔なハンカチを持たせるようご家庭でもご協力お願いいたします。元気にこの梅雨をのりきりしましょう。